

要請番号 (JL04526A32)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モンゴル	H106 保健師	20~45歳のみ	個別	新規	2年	・2026/3・2027/1・2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健省

2) 配属機関名 (日本語)

フブスグル県保健局

3) 任地 (フブスグル県ムルン市) JICA事務所の所在地 (ウランバートル市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 12.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

配属先は県内の保健行政を担う部署で、保健政策の立案・実施支援、県内医療機関への指導と監督、公衆衛生サービスの企画・推進、医療連携・紹介体制の調整と質の向上、医療の質管理・標準化、国や関連機関と連携した人材育成・研修の企画運営等の業務を行っている。県内には公立・私立を合わせ150を超える医療・保健機関が約13万人の住民に対して、公衆衛生、医療サービスを提供している。局内は、保健行政、医療サービス、公衆衛生センター、監査検査の4部門で構成され、現在は約40名の職員が在籍している。年間予算は約15億MNT。過去に米国平和部隊のボランティアを1年間受入れた経験があるが、協力隊の受け入れ経験はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

フブスグル県では、公衆衛生サービスのアクセスと質の不足、住民の健康リテラシーの低さ、健康的な生活習慣の未定着が重なり、感染症・非感染性疾患が健康被害の主因となっている。また、平均寿命も全国平均を下回り、男女差も大きい。こうした状況を改善するために、正しい健康情報の普及、食事・運動を中心とした行動変容支援、住民や医療従事者向けの研修・運動指導・メンタルヘルスに関する助言など、現場で伴走できる人材が必要とされている。協力隊には、日本の公衆衛生の好事例を共有しつつ、現地の人材とともに活動を進めることで、県内の公衆衛生サービスを充実させ、地域保健体制の強化・向上につなげていくことが期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 日本の公衆衛生サービスの運営方法・実践的手法についての情報共有。好事例の普及に向けたサポート。
- 住民や医療従事者への運動指導、健康的な生活習慣の普及等、公衆衛生活動に関するサポート
- 生活習慣病予防、感染症対策などに関する研修や講習の企画・実施のサポート
- 心理・メンタルヘルスに関する情報提供や助言
- その他配属先が必要とするサポート(一例として、日本語の挨拶や簡単な表現の紹介)

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

執務室、机、椅子、パソコン、インターネット環境等

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- ・50代男性(局長、医師)
- ・40代女性(公衆衛生センター所長、経験約15年)

活動対象者:
公衆衛生センター職員12名、県内の地域住民137,000名

5) 活動使用言語

モンゴル語

6) 生活使用言語

モンゴル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(保健師があると望ましい)
(看護師が必須)

[学歴]：() 備考：

[性別]：() 備考：

[経験]：(実務経験) 3年以上 備考：経験に基づいた指導が必要

[参考情報]：

- ・公衆衛生分野の知識があると尚よい

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(ステップ気候) 気温：(-30～30℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

【特記事項】

- ・11月から3月にかけて、平均気温は氷点下となり寒さが非常に厳しい。

【類似職種】